



三原市・三原やっさ祭



府中町・水分峡森林公園



安芸高田市・神楽



熊野町・筆まつり



東広島市・酒蔵通り



岩国市・錦帯橋

広島広域都市圏の取組

まつい かずみ
広島市長 松井 一實



竹原市・重要伝統的建造物群保存地区



呉市・大和ミュージアム



広島市・平和記念公園



安芸太田町・温井ダム



江田島市・海上自衛隊第1術科学校



北広島町・壬生の花田植



坂町・ベイスайдビーチ坂



海田町・旧千葉家住宅



廿日市市・厳島神社



大竹市・亀居公園



柳井市・白壁と金魚ちょうちん



広島市・原爆ドーム



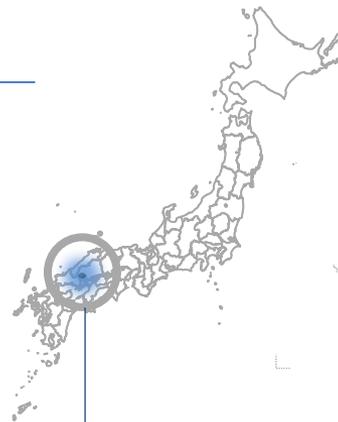
「広島広域都市圏」PRキャラクター 広島都市犬“はっしー”

Facebook : <https://www.facebook.com/hiroshimatoshiken.hassy>

I 人口減少社会への対応

圏域概要

- 構成市町：「広島広域都市圏協議会」に参画する17市町
- 圏域人口（平成22年国勢調査）：2,257,019人
- 圏域面積：5,766km²

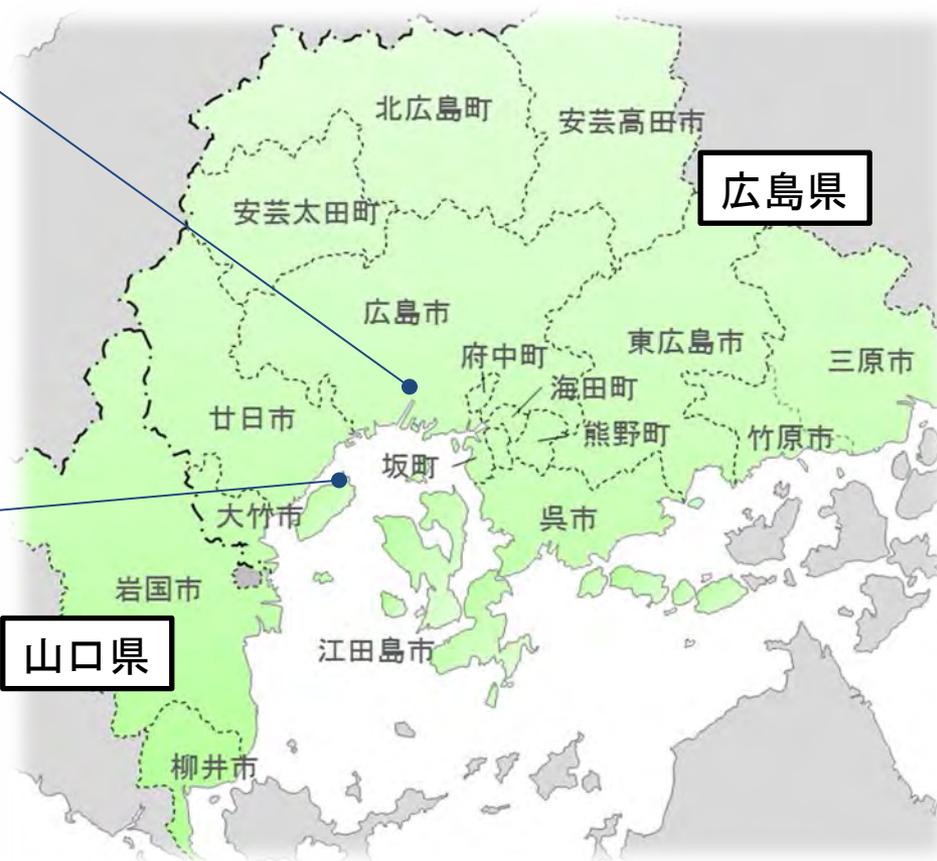


広島広域都市圏 圏域図

原爆ドーム（広島市）



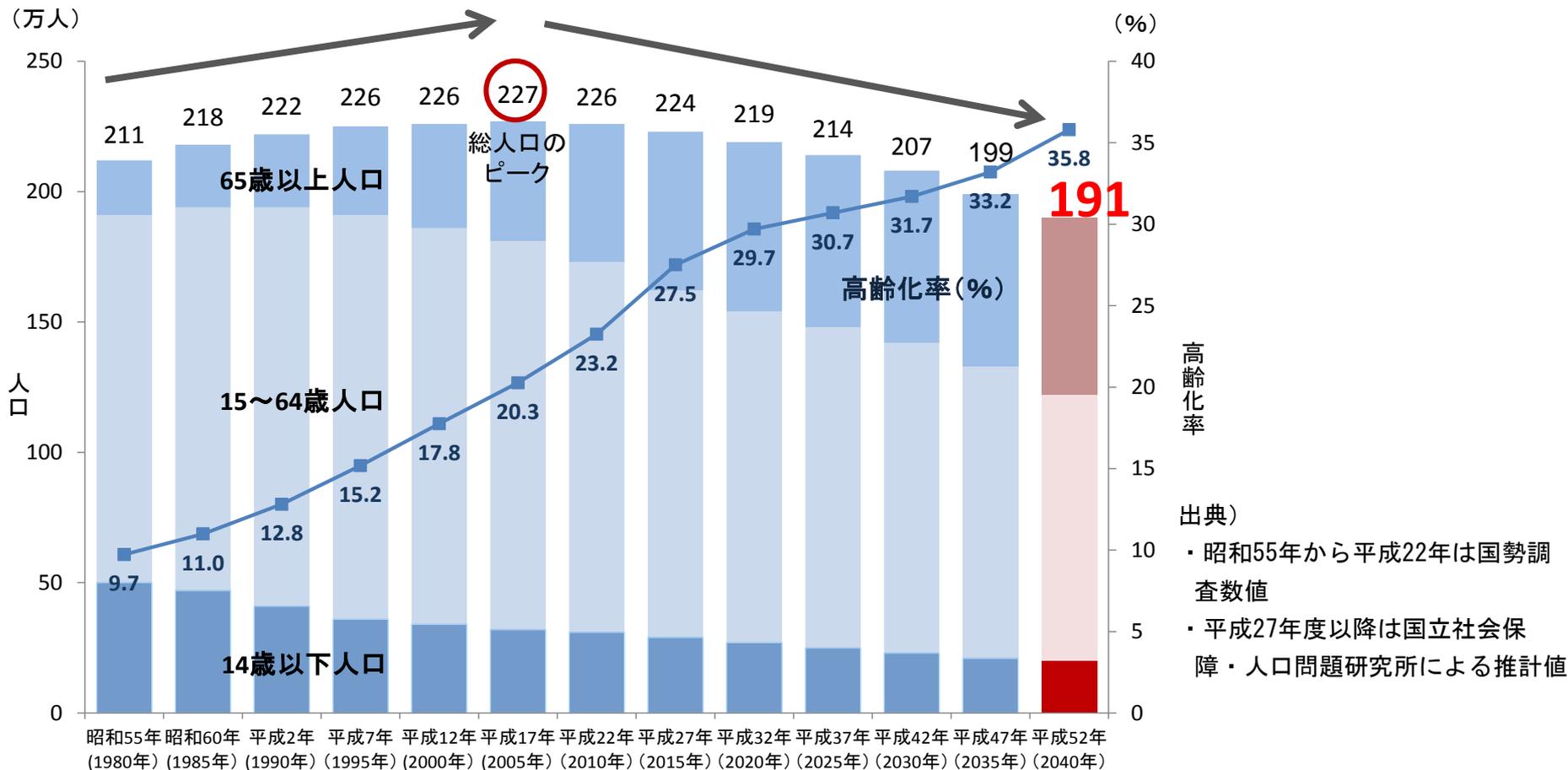
厳島神社（廿日市市・宮島）



1 広島広域都市圏の人口と高齢化率の推移

広島広域都市圏全体の人口は既にピークを越えており、2040年には191万人になるとの推計結果（（参考）2010年：226万人）。

広島広域都市圏における人口と高齢化率の推移（グラフ）



これまでの施策をこれまでどおり実施していたのでは、このような結果を招いてしまうという「警鐘」と受け止め。

【200万人広島都市圏構想】

- 「広島広域都市圏協議会」の構成市町が、経済面、生活面での連携を更に深め、お互いに支え合いながら圏域一丸となって人口減少社会に立ち向かう
- “「ミュニシパル・アライアンス（都市連盟）」”とも言うべき強固な信頼関係の下、圏域内の各市町の特色を生かし、全ての市町が輝くことができる「圏域づくり」を行い、圏域内の住民がずっと住み続けたいと思う「広島広域都市圏」を形成



構成市町と共に、人口減少の予測を覆し、200万人超の圏域人口の維持を目指す

《広島市の役割》

圏域内住民全体の暮らしを支えるための施策を企画・立案

例えば、

■ **圏域全体の経済成長のけん引役**

産学官連携の下、圏域内市町の資源を生かし、圏域全体に活力を生み出す経済施策を企画・立案

■ **圏域内サービスの提供役**

市町単独で実施することが不効率な場合には、本市の区域を越えて、圏域内市町住民への行政サービスを提供

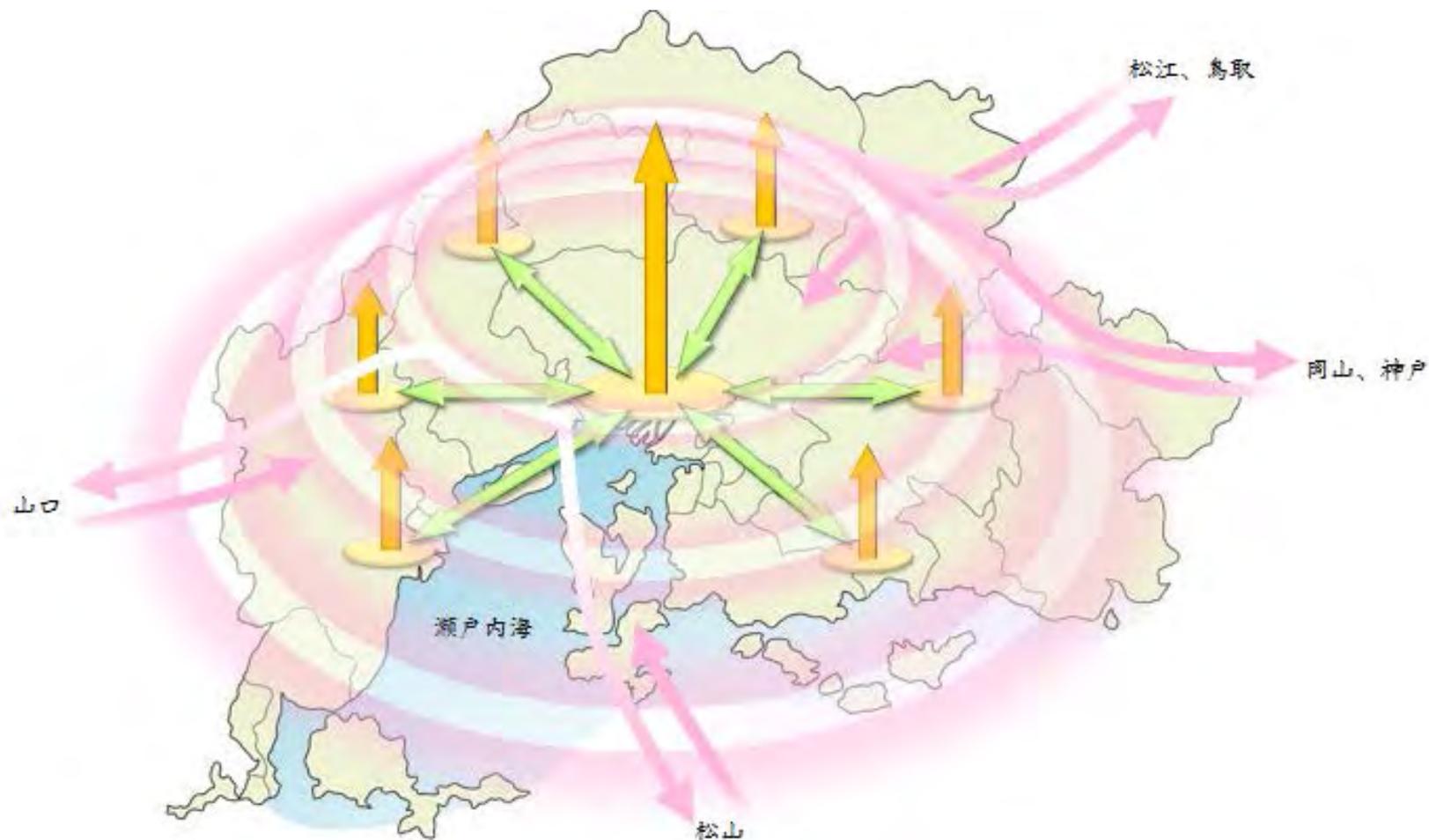
等



構想の実現に当たって、国の「地方中枢拠点都市」制度を活用

3 目指すべき広島広域都市圏の将来像

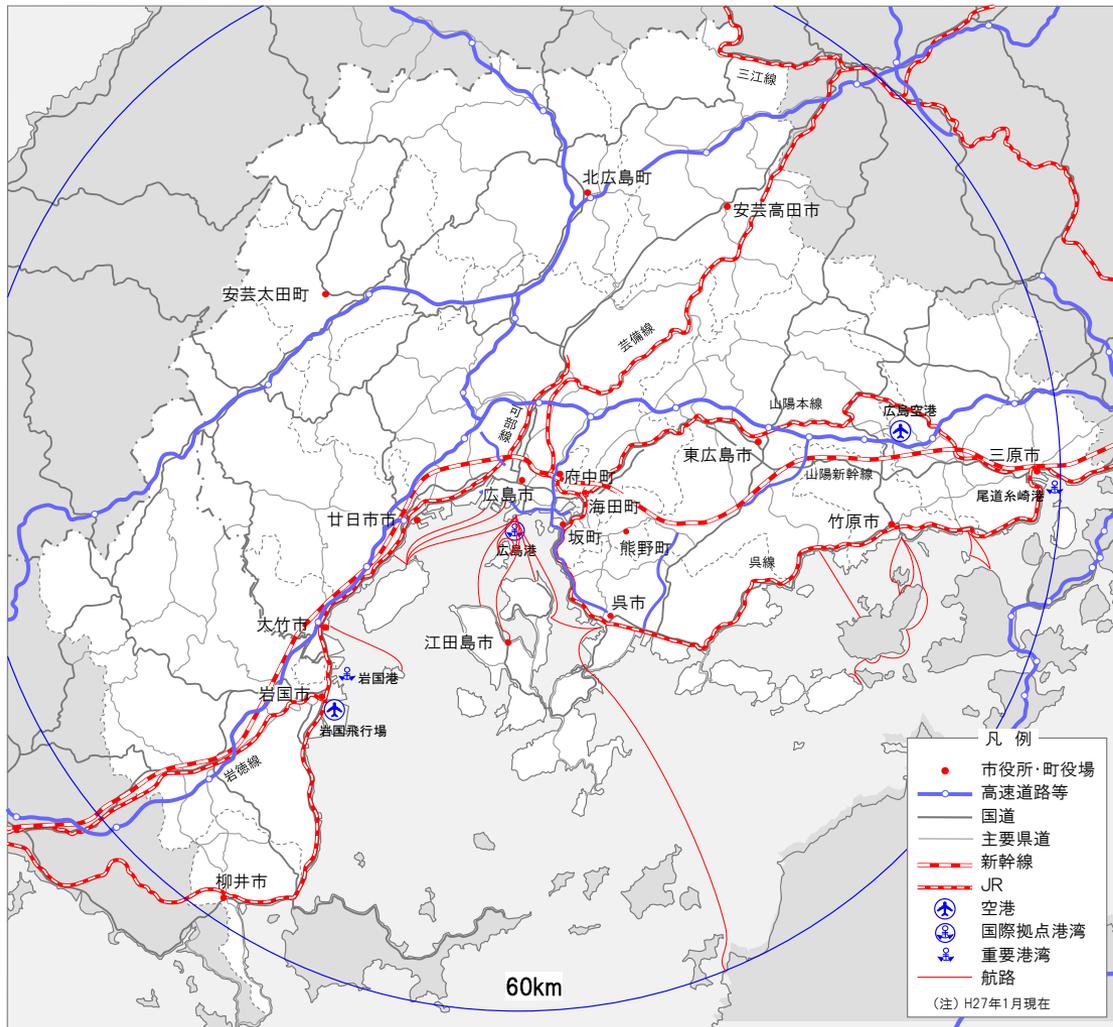
「200万人広島都市圏構想」の更なる展開として、北は中国山地を越えて島根方面へ、また、南は瀬戸内海を跨いで愛媛方面へ、その圏域の拡大を目指す。



足元を固める意味からも、まずは、確固たる「ローカル経済圏」の構築が不可欠

成熟社会の到来 …限られた地域資源を活用した持続可能な圏域社会の構築がカギ

インフラを活用した「循環」を基調に、「ローカル経済圏」を構築



広島広域都市圏

- ・循環を基調とした経済システムが有効に機能する基盤
- ・需要と供給のバランスを取るに足る広がり



インフラ



適度な産業分布

県の壁、市の壁を越え、圏域の17市町が一体となって、全ての市町がより魅力を高め、経済発展を目指す



「広島広域都市圏」PRキャラクター 広島都市犬“はっしー”

Facebook : <https://www.facebook.com/hiroshimatoshiken.hassy>

Ⅱ 地方中枢拠点都市圏の形成に向けた取組

市町間で様々な交流と連携を推進し、圏域全体の発展に寄与することを目的として、平成5年10月に「広島広域都市圏形成懇談会」を設立。

取組概要

構成市町が標準財政規模に応じた負担金を互いに拠出し、以下の取組を実施(懇談会運営費は広島市が負担)

- 圏域情報広報事業
 - ・ イベント情報紙の発行
 - ・ ホームページによる観光情報の発信 等
- 職員の交流・研修
 - ・ 職員共同交流研修
 - ・ 職員の相互派遣 等
- 地域間交流事業
 - ・ ふるさとの魅力発見ツアー
 - ・ 広島東洋カープ等の共同応援
 - ・ 広島交響楽団共同鑑賞 等
- 図書館の広域利用 等



平成24年2月に「広島広域都市圏協議会」に改称。本格的な圏域の活性化に着手！

まち起こし協議会

- ✓ まちの活性化と産業・経済の活力増進等を図ることを目的に、「広島広域都市圏協議会」の内部組織として、新たに“神楽”及び“食と酒”の「**まち起こし協議会**」を設置。

「広島広域都市圏」PRキャラクター

広島都市犬“はっしー”



平成25年9月
リリース

「広島広域都市圏」を元気にするためにがんばっている都市犬。広島県の赤いもみじの前かけを身につけ、山口県特産のみかんを食べるので黄色のタテガミがある。

おじさん(?)だが活発な性格で、市や町を「はしわたし」してみんなを仲良しにしたり、たくさんの魅力を「はっしん」するため日夜走り回っている。

きっかけは、総務省の「新たな広域連携モデル構築事業の委託に関する提案募集」(5月8日締切)。

- 「地方中枢拠点都市」制度は圏域というエリアを設定し経済発展を目指す広島広域都市圏のために用意されたといっても過言ではなく、これを活用しない手はない！
- 今こそ、「地方中枢拠点都市」制度を活用し、これまで取り組んできた「まち起こし協議会」を発展させ、更なる圏域全体の活性化に乗り出す時！

平成26年4月下旬 市長直筆のサインをした“手紙”の送付

人口減少の予測を覆し「200万人」を維持するとの目標の下で、圏域全体の活性化に取り組むため、「地方中枢拠点都市検討会議」（課長級会議）への参画を要請

広域都市圏協議会
の構成市町
(16市町)の首長



◎ 全16市町から「地方中枢拠点都市検討会議」（課長級会議）への参画について快諾の返事

- ・ 5月28日 「地方中枢拠点都市検討会議」（課長級会議）の立ち上げ
- ・ 6月27日 新たな広域連携モデル構築事業の実施団体に選定
- ・ 7月22日 広域都市圏協議会首長会議において地方中枢拠点都市圏の形成に向けて、施策を検討していくことを改めて確認（右写真）



地方中枢拠点都市検討会議において協議・検討した圏域の方向性や具体の施策案を基に、広域都市圏協議会首長会議の中で、全17市町の首長が意見交換。

広域都市圏協議会首長会議（公開）

- 全17市町の首長が参加
- 年2回開催（次回は2月に予定）

広域都市圏協議会首長会議

全17市町で意見交換

新設 地方中枢拠点都市検討会議（非公開）

- 全17市町の課長級会議
- 適宜開催（これまで昨年5月と12月に開催）
- 事務局は広島市が担当

■ 圏域の方向性
■ 施策案

地方中枢拠点都市検討会議

全17市町で意見交換

広島市における施策の検討

ア 圏域全体の経済成長のけん引

【経済戦略の検討】

拠点性強化に向けた懇話会

- 産（中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会）
- 学（広島大学、広島市立大学、広島修道大学）
- 官（広島市）

【具体の施策案の検討】分野別に庁内ワーキンググループを立ち上げ

経済

医療

交通

高等教育

イ 高次の都市機能の集積

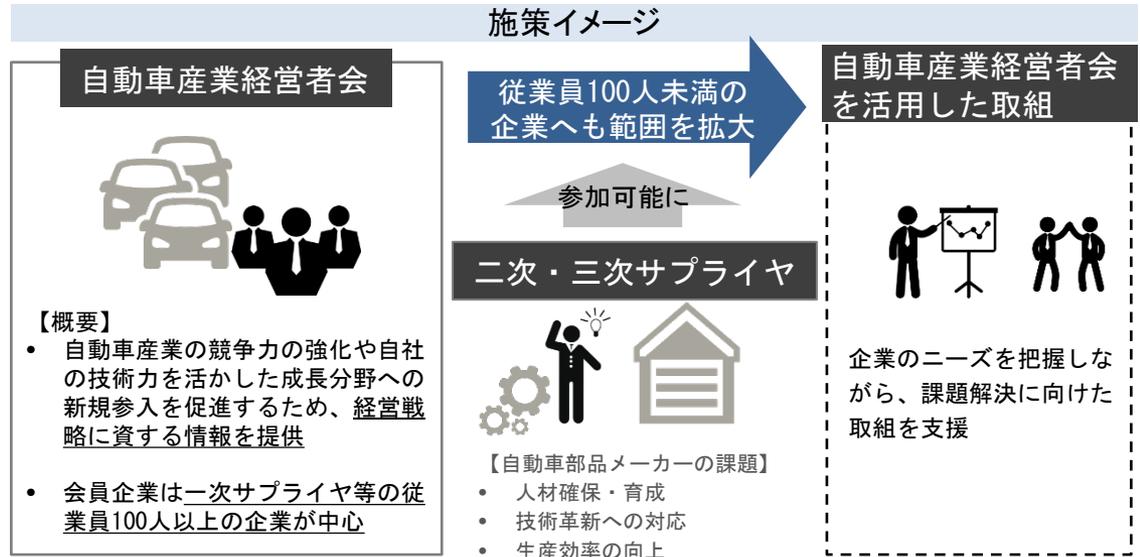
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 構成市町から施策の提案を受け、広島市の各担当課において圏域の施策案を企画・立案

1 自動車産業経営者会の開催

概要

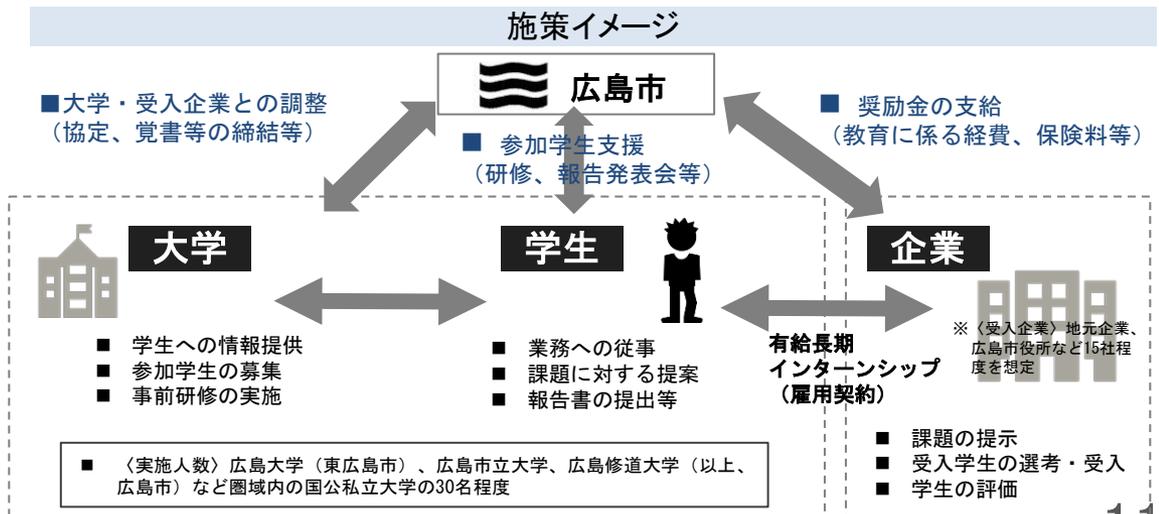
広島市内及びその周辺の自動車部品メーカーの経営者を対象に開催している「自動車産業経営者会」について、規模の小さな企業（従業員100人未満）にも対象を拡大するとともに、自動車部品メーカーの抱える課題について、企業ニーズを把握しながら、解決に向けた取組を支援する。



2 有給長期インターンシップ

概要

圏域内の産・学・官が連携し、圏域内の大学で学ぶ学生が圏域内の企業で働くことについて具体的なイメージを持つことができるよう、学生と受入企業が雇用契約を結び、学生が賃金を受け取りながら、企業の一員として実際の職場で働く機会を提供する事業を実施する。

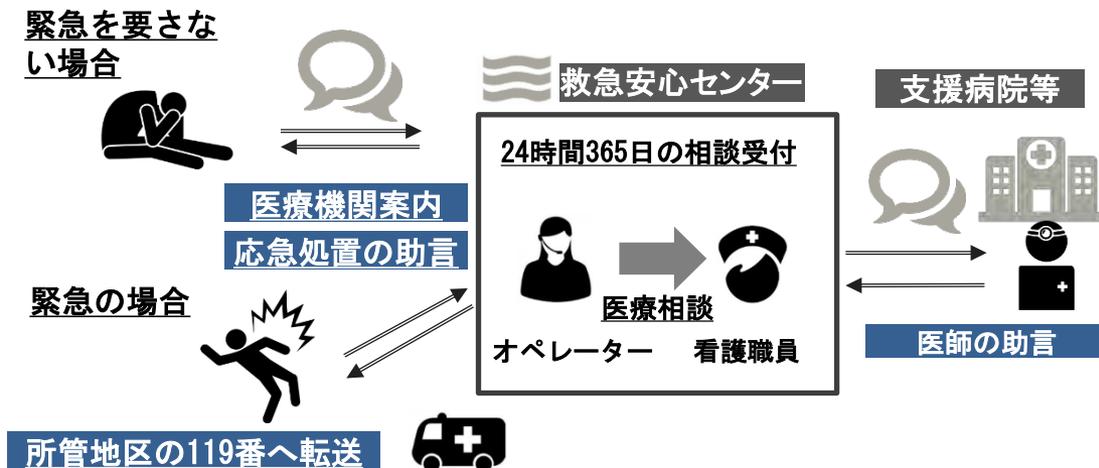


1 救急医療相談の充実

概要

広島広域都市圏版「救急安心センター」を開設し、医療相談員による24時間365日体制の電話相談受付け、医療機関の受診案内、応急処置などの助言等を行う。

施策イメージ

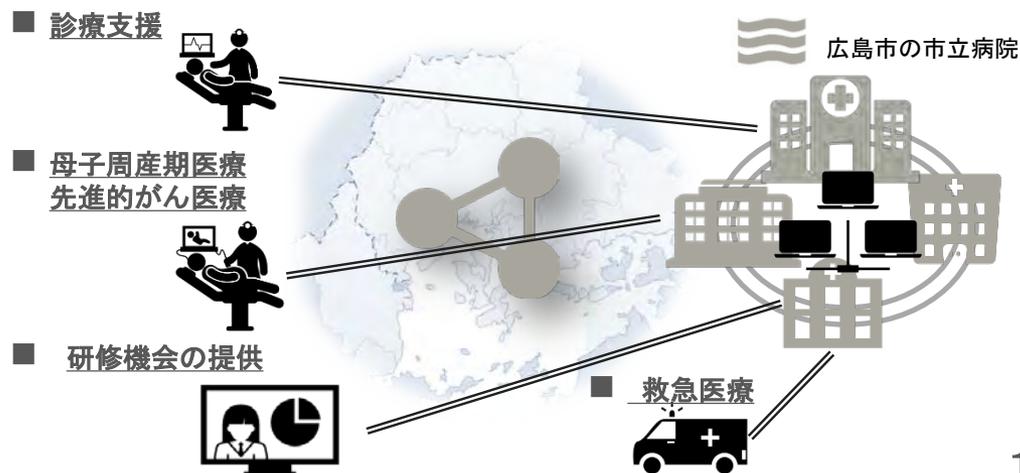


2 ICTを活用した地域医療支援

概要

広島市の市立病院(4病院)と圏域内の医療機関との間をICTネットワークで結び、高度な医療機能の圏域内医療機関への提供、医療従事者に対する診療支援や研修機会の提供等に取り組む。

施策イメージ



1 ひろしま活力農業

概要

圏域の農業の担い手を育成するため、圏域内の新規就農希望者を対象に農業の基礎研修や経営初期段階の支援を行う。

施策イメージ

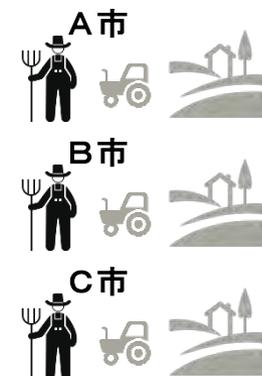
募集・選考

「ひろしま活力農業
経営者育成事業」

- 基礎研修
- 実地研修
- 農業経営初期の各種サポート

圏域の農業の活性化

独立



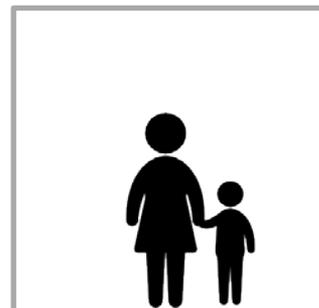
2 保育の広域利用

概要

子育て家庭の多様な保育ニーズに応えるため、病児・病後児保育や一時預かり保育など、市町域を超えるニーズが高い保育サービスについて、圏域内の広域利用に取り組む。

施策イメージ

広島広域都市圏内 A市

他市町での
利用が可能に

広島広域都市圏内 B市

- 病児・病後児保育
- 一時預かり保育 等



上記取組の推進にあたっては、保育対策等促進事業、保育緊急確保事業（いずれも厚生労働省事業）を活用予定。

「地方中枢拠点都市」となる都市が取り組むこととされている経済、医療、交通等の施策については、広島県も広域的な視点から戦略的に取り組んでいる。このため、広島市がこれらの施策を実施するに当たっては、県と協力して取り組むことが有効。



- 「広島県知事・広島市長会談」や「広島県・広島市連携のための合同研究会（部長級会議）」の中で協議・調整。
- 近隣市町と設置した「地方中枢拠点都市検討会議」に広島県もオブザーバーとして参画。

【広島県知事・広島市長会談】



【広島県・広島市連携のための合同研究会】



平成24年2月13日に設置した「広島県・広島市連携のための合同研究会」において、広島県と広島市がそれぞれ実施している類似の行政サービスについて、住民の視点に立って県・市の連携や役割分担を整理。これまでの間、その結果に基づき連携施策を実現。

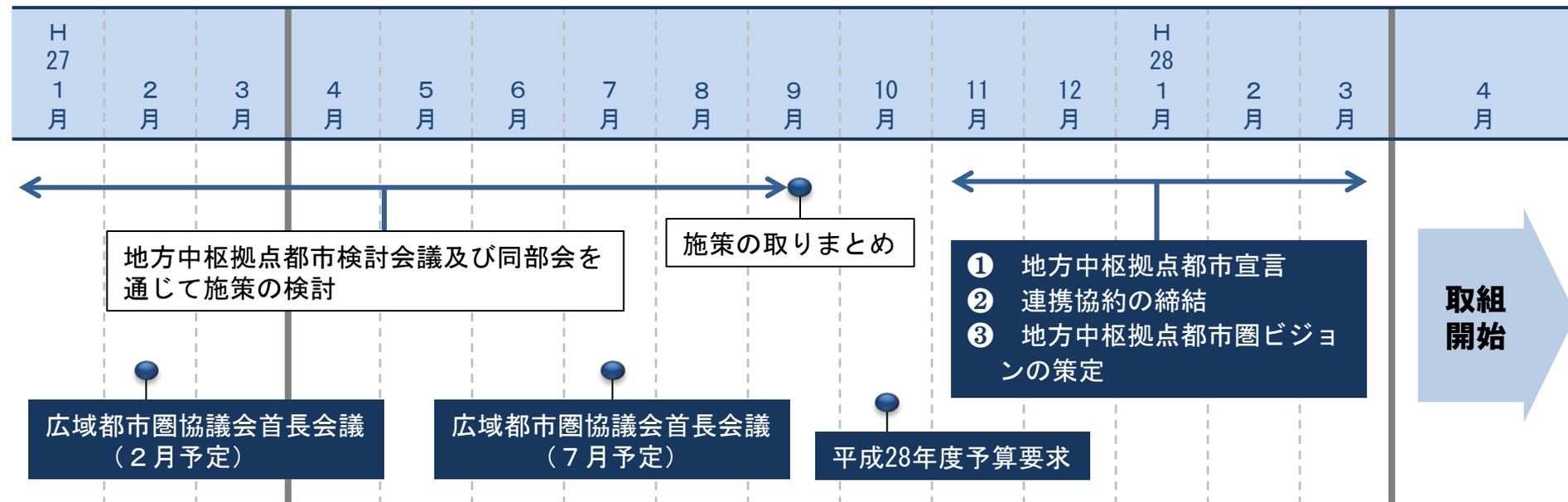
「広島県・広島市連携のための合同研究会」における取組（経済関連の主な施策）

項目	合意時期	連携内容
中小企業支援	平成25年 3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県・広島市の中小企業支援センター、広島商工会議所及び広島県商工会連合会が連携して、各機関の支援メニューについて利用者がどこに行ってもワンストップで情報収集でき、アドバイスが受けられる「一次相談窓口」を設置する。 ⇒ 平成25年9月に実現
	平成26年 2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県西部地域における総合的な相談業務を、県の中小企業支援センターから市の中小企業支援センターに移管する。これにより広島県西部地域における役割分担は、市の中小企業支援センターが総合的な相談業務を担い、県の中小企業支援センターが、チーム型支援や、技術・経営力評価支援などの専門的な支援業務を担うこととする。 ⇒ 平成26年4月に実現
新ビジネス創出	平成25年 3月28日	<ul style="list-style-type: none"> ● IT企業と、医療、福祉、農業等の異分野の企業との融合によるビジネス創出に向けて、「ひろしまIT融合フォーラム」を広島県と広島市が共同で設立する。 ⇒ 平成25年7月に実現
工業技術	平成26年 2月7日	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島県・広島市の工業技術センターの一体的運営を図るため、広島県経営戦略審議官と広島市経済観光局長が連携協定を締結し、機器・設備の共同利用や職員の人事交流等の具体化について協議を行う連携委員会を設置する。 ⇒ 平成26年3月26日に「工業技術センターの連携・協力に関する協定書」を締結

こうした実績を活かして、「地方中枢拠点都市」の取組についても、相乗効果が生まれるよう広島県の施策との役割分担や連携を図りながら取組を実施。

今後のスケジュール

平成28年4月からの取組開始を目指す。



地方中核拠点都市圏の形成後（運営段階）

- 地方中核拠点都市圏ビジョンに盛り込んだ施策が、確実に実施できるよう地方中核拠点都市検討会議及び広域都市圏協議会首長会議において進捗管理を行う。
- 平成28年度以降は、地方中核拠点都市検討会議及び広域都市圏協議会首長会議において各施策の評価を実施し、その結果を地方中核拠点都市圏ビジョンの見直しの際に反映する。



「広島広域都市圏」PRキャラクター 広島都市犬“はっしー”

Facebook : <https://www.facebook.com/hiroshimatoshiken.hassy>

Ⅲ おわりに ～「地方中枢拠点都市」制度に関する所感～

➤ 分権の受皿としての可能性について

- 現在広島県と連携し、広島県から各市町に移譲された権限のうち、専門性が高いものなどについては、広島市など規模の大きい市町が支援する方法について研究を進めている。
- 前回の第30次地方制度調査会の答申に基づき、73事務の権限移譲の法定移譲について検討がされたが、市域を越える権限などは、移譲が見送られた。
- 基礎自治体への移譲によって効果が見込まれる権限については、圏域の中心都市が市域を越えて担うことができれば、圏域内ネットワークの強化につながる。
- 国においても個別法で対応するなどの支援があれば、この「地方中枢拠点都市」制度による圏域形成は、分権型社会の新しい展開につながると考える。

➤ 都道府県域を越えた連携について

- 広島広域都市圏の区域は広島県を越えて、山口県の岩国市と柳井市にも及んでいる。
- 広域的な行政施策の多くは、都道府県域を単位として制度設計されている。
- 広島広域都市圏においては、まずは、都道府県域を越えたとしても連携が可能なものから連携を開始したい。
- こうした実績を積み重ね、足元を固めることによって、都道府県域を越えた圏域内の市町間のつながりの強化を図りたい。



「広島広域都市圏」PRキャラクター 広島都市犬“はっしー”

Facebook :<https://www.facebook.com/hiroshimatoshiken.hassy>